

2025 年 6 月 5 日

岡山県知事 伊原木隆太様

民主県政をつくるみんなの会

## 政治資金問題での抗議と知事自身からの説明を求める申し入れ書

2025 年 3 月 12 日にマスコミ報道に係り知事が代表である資金管理団体の知事の 2013 年から毎年 1000 万円の寄付について県民・職員への説明を求めたところです。その後何ら連絡もないこと、さらに 3 月 19 日の知事定例記者会見で記者の質問に答えて「場を改めて説明するということは現時点では考えていません」と答えており知事の姿勢に強く抗議するものです。

この記者会見で新たな疑問が起きました。知事は「(資金管理団体の件も検察に) 全て提出して見ていただいた上での (罰金刑) 100 万円ということです。」と質問に答えて「すべて見ていただいた」と何度も答えています。隆友会の政治資金収支報告書は知事の 1 千万円の寄付はそのままになっています。ということは実際に寄付をしたということになりますかどうなのでしょうか。

一方で「同じ会計責任者が、そういう団体はたくさんあるわけですが、全部同じ人が処理をしていましたので、考え方、方針は同じでありまして、こちらで不適切とされたことは、こちらでも不適切というようなことをしていたということなのだろうと思います。」と疑惑を認めるような答えもしています。

また、すべて検察に資料を出したと答えていますので、どういうものを出したのか知事も把握していると思います。担当者に任せている部分はあると思いますが、検察に出す資料について知事である責任者が知らないでは社会的には通用しない話です。いつまでも詳しくは知らない、後援会に聞いてくれではなく、知事自身が説明する事が求められています。

2012 年の県知事選挙で父親である伊原木一衛氏から政治資金規正法の上限の 100 倍を超える寄付を受け取って選挙を行ったところから問題が発生しています。そして罰金を払わなければいけない有罪になることにまで発展する問題になりました。まさに 2012 年の当選が正当なのかどうか問われており、県政運営にかかわる問題になってきています。

自らのお金の使い方に疑惑がある人に、正常な県政運営はできません、改めて知事自身からの説明を県民と職員にすることを求めます。